

たくまれた劇場 12・5 は歴史の転換点になるか：グアンタ

ナモへのご招待？

Greatchain

2018/12/19

父ブッシュ大統領の葬儀と、その内部で同時に行われた「謎の封筒」ドラマは、あまりにも劇場効果がすぐれているので、すでに、いくつものビデオが公表されている。これはあきらかに、深層国家＝トランプの政敵の、微妙な動作や表情を観察するために撮影したもので、封筒の細工とともに、権力者の手によるものと考えざるをえない。トランプ夫妻が最後に堂々と入場するところも含めて。このドラマをもって、両勢力の逆転が起こったと見ることができる。封筒にどう書かれていたかは、誰も知らない。しかし、明らかに一目で読めることがわかる。私ならこう書く――We the People respectfully invite you to the Guantanamo.

これを動かしているのが、ホワイトハウス内の「我々人民」の代表者 Q（と QAnon）らしく見えるので、この Q の文字が最近、街頭の運動家の間で、胸などにつけて用いられるようになった。これはヨーロッパの“イエロー・ベスト”と同じもので、やがて連結すると思われる。これは完全に“気づいた人たち”の団結なので、国を超えて、党派や利益などとは関係がない。我々は一斉に牢獄を飛び出したときに、誰がリードしようと、そんなことはどうでもよい。これは、今までわからなかった、サタン世界から解放されるという、本質的に精神の喜びの体験だからである。

今まで我々が、知らずに入っていた牢獄が、どれほど巧妙で悪辣なものだったかを、雄弁に語っている人がいるので、以下、最後まで翻訳紹介することにする。

これは文章でなく、語られたものの字幕から訳したもので、(Dr. Richard Saunder による) Deep Underground Bases and the Satanic Breakaway State (深い地下基地とサタンの分離国家) という、1 時間 15 分のインタビューの一部である。最初、スイス近傍に最近できた「ゴッタルト地下トンネル」という、世界最長の鉄道地下トンネルの、有名だが報道されない、サタンの竣工式や、CERN について語ったあと、彼はこう語っている――

「・・・あなたの政府は、あなたから盗んでいるのだ。あなたが防衛する義務のある、この

いわゆる政府は、法律の名に隠れて、あなた方から何兆ドルというカネを盗んでいるのだ。彼らは、税金を払うのは義務だと言うが、くると振り向いて、実はある事情があって、あることが必要になったのだ、と言う。

「なぜ、いったい、なぜ、あなた方は、あなた方から何兆ドルを盗んでおいて、そのカネが何に使われたのかは言えないような組織に、従わねばならないのか？ なぜ、あなた方は自分の人生で、そのような組織と関係をもたねばならないのか？ なぜ、泥棒やウソつきから、命令を受けなければならないのか？ なぜ、あなた方は、道徳的に、また法律的に、あなた自身から盗むことを彼らに許し、面と向かってウソをつくことを許すのか？ どうかそれに答えてほしい。

「その隠れた目的は、あなた方から盗み、あなた方にウソをつき、そこで、もしあなたが、お前は私から奪ったのではないか、お前は私にウソをついたのではないか、と言えば、あなたを犯罪者とし、泥棒の仲間にするためなのだ。イエス・キリストのそういう譬えがある。

「我々は悪魔的な現実には生きています。我々は、あまりにも悪で、曲がったものと取引をしているので、平均的な人間は、自分の心が悪に包まれていることを、自覚できなくなっている。確かに、それはほとんど別の考え方だということは、わかっている。しかし、我々はそういうものと付き合っているのだ。我々は、あまりにも極端な悪と付き合っているから、それがどんな感じのするものか、把握することができなくなっている。それがあなたであり、私だ。

「そして、他のあらゆる人が、アメリカ合衆国と呼ばれる、この悪魔的ルールに縛られているのだ。そして私は、これは、いわゆる合衆共和国の建国にまで遡ると言いたいのだ。それはその時も、現在も、同じ悪魔的なプロジェクトであり、この惑星を、その暴力と、そのウソでいっぱいにするのを狙うものだった。なぜなら、アメリカ合衆国というと呼ばれるこのモノの歴史を遡るなら、人は、学校で教えられるプロパガンダを忘れてしまうからだ。ちょっと覗いてみるがよい。戦争に次ぐ戦争に次ぐ戦争・・・大量の奴隷、土着アメリカ人の殺戮、土地の略奪、保留地、それからメキシコ・・・」

確かにアメリカは、建国の初めから、ファシズム帝国主義だった。君主がないことと、秘密、騙し、プロパガンダの巧みさによって、これを民主主義と自由の国として見せかけることができた。これは、リチャード・ソーンダーだけの説ではない。今後、ますますこのアメリカの見方は強くなるであろう。世界が健全になるためには、そうでなければならない。

そして「我々人民」と、世界の人民はどうか？ 今、あの有名な父ブッシュの New World Order 演説を聞き直してみるとよい。何の疑念も持たずにこれを聞けば、もし私がアメ

リカ人であったら、「なんと我々は、すばらしい未来の構想をもつ大統領をもった、誇るべき、幸福な国民だろう」と感謝するだろう。そしてその幻想の下に、アメリカ国民の大多数が生きてきた。彼の死去とともに、この幻想がやっと破れ、アメリカ人(と世界の住民)は、やっと本当の幸福を掴む方向に進もうとしている。